中部中学校だより
き ず な

KCJH Since 1947

令和４年３月４日発行
第　５０　号
亀山市立中部中学校
亀山市田村町７５番地
☎：８２－２１０１
文責：徳　田（校長）

中部中ＨＰ ＱＲコード

令和３年度『卒業証書授与式』を挙行
卒業生１６８名　それぞれの「道」へと旅立つ

本日３月４日（金曜日）、令和３年度の『卒業証書授与式』が行われ、１６８名の卒業生が、無事に中部中学校を巣立つことができました。保護者の皆さんにおかれましては、義務教育９年間を終えられたということで、感慨もひとしおのことと思います。

式辞の中でもふれましたが、この学年の生徒たちは、中学校生活の大半がコロナ禍にあって、様々な制限や休校措置などがあり、さぞかし不満も多かったのではと思うことしきりです。しかし、先日の『３年生を送る会』の時もそうだったのですが、彼ら彼女らは、現状を素直に受け入れ、その場でできる限りのことをしようとする、まさに「楽しむ天才」であったことは間違いありません。このことは、あと５年後、１０年後に必ずや活きてくると信じています。何事にも、前向きに、ポジティブであることが素晴らしいのです。

この３年間で、本校においてどれ程の教育が施せたのかは定かではありませんが、本日の卒業式でのお子様の姿こそが、その答えの一つではないでしょうか。至らないことも多々あったこととは思いますが、卒業生保護者の皆さんにおかれましては、多大なご理解とご協力をいただきましたことに、この書面にて御礼申しあげます。どうも、ありがとうございました。

★２０２１年度 中部中学校教育キーワード：「一路邁進（いちろまいしん）」　※全生徒・全教職員が意識して取り組みます。

亀山市立中部中学校「卒業証書授与式」　学校長式辞

一六八名の三年生の皆さん、卒業おめでとう。つい先程、堂々たる様で卒業証書を受け取ったときの気分は、これから夢に向かって旅立とうとするに相応しい、意気揚々たるものであったと推察しています。また、本日ご参列いただきました、保護者の皆さん、ご家族の皆さん、中学校三年間、義務教育九年間の学びを終え、本日ここに卒業の時を迎えられましたことを、高いところからではありますが心よりお祝い申し上げます

卒業生が、これまでお世話になった多くの方々をご来賓としてお招きし、さらには、合わせて四百名に近い一・二年生も出席する中で、その門出を祝いたい。そんな思いで準備を進めてきましたが、今年もまた、新型コロナウイルスによって阻まれる形となってしまいましたことを、極めて残念に思うとともに、深くお詫び申し上げます。そのような中、亀山市教育委員会の服部裕教育長様をお招きして告辞を賜ることができますのは、大変ありがたいことと感じているしだいです。

さて、卒業生の皆さん、しばしの間目を閉じてみてください。瞼の裏に浮かぶのは、この三年間の歩みでしょうか。それとも、今よりもっと成長した未来の姿でしょうか。もちろん、どちらでも構いません。過ぎ去った日々に思いを馳せるあなたは、自身を冷静に振り返り、見つめ直し、過去を未来に活かすことができるタイプ。同じ過ちを繰り返さず、これまでの学びを糧として、今後の成長につなげていける人だと思います。また、これからの夢に向かって期待に胸を膨らませるあなたは、しっかりとした目的をもって未来を見据えることができるタイプ。必要な経験や情報などを集め、そこから分析・想定して、新たな自分の歴史を築いていける人だと思います。いずれにしても、これまで歩んできた道、これから進もうとする道、どちらの道も大切にしてほしいのです。

人気アーティストEXILEのヒットナンバーの一つに、「道」という曲があります。その中に、次のような歌詞があります。「空　今日も青空です　泣き笑いしたあの時　あたりまえが未来に変わる　希望・夢・愛　話したい　動くな時間　空に叫ぶ　キミを忘れない」です。嬉しいことに、今日、外は青空が広がっています。中部中学校を後にするその時、空を見上げてみてください。きっとそこには、希望・夢・愛の文字が浮かんでいることでしょう。そして、空に向かって叫んでください。「キミを忘れない」と。この曲のラストでは、こう歌っています。「道　君と歩いた今日まで　かすかに動くくちびる　特別な時間をありがとう　心・勇気・友・笑顔　嬉しすぎて　溢れ出した涙が　とまらない」です。この三年間、皆さんは同じ道を歩んできました。そこには、何事も勇気をもってやろうとする心や、友の笑顔があったことを忘れないでください。そして、仲間に言いましょう。「特別な時間をありがとう」と。きっと、溢れ出す涙がとまらないかも知れません。

この三年生の皆さんは、中学校生活の大半がコロナ禍に見舞われ、修学旅行をはじめ、体育祭や文化祭といった行事に至るまで、凡そ平常なものではありませんでした。それでも、皆さんは不貞腐れたような様子もなく、むしろその時々を、思いっきり謳歌しているようでした。まさに、学年目標にある「楽しむ天才」そのものだったのではないでしょうか。これから先の何年か後に、「中学生のときにコロナの時代だったから、何もできないなあ」ではなく、「コロナの時代だったから、こんなにも強くたくましいのだな！」と、そんな評判になることを保証します。

結びとなりますが、卒業生の皆さんは身体には十分に気をつけて、たった一度きりの人生を、どこまでも健康第一で自らの道を切り拓いていってください。この式場内におられる全ての皆さんの、前途に幸多かれとお祈りし、学校長式辞といたします。

令和四年三月四日

亀山市立中部中学校　　校長　德田　浩一